2015 年 2 月期 決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス（3063）

2015年4月21日

目次

1. 連結決算概要

決算ハイライト ---------------- 4
連結損益計算書概要 ---------------- 5
連結貸借対照表概要 ---------------- 6
連結キャッシュ・フロー計算書概要 ---------------- 7
セグメント別業績概況 ---------------- 8
飲食事業の業態分析 ---------------- 9

2. 2015 年 2 月期トピックス

売上高の拡大 ---------------- 11
原価管理 ---------------- 13
人件費管理 ---------------- 15
販管費管理 ---------------- 16
独立支援飲食ビルのプロデュース ---------------- 17
独立支援飲食ビル「ジェイチル名駅」開業 ---------- 18
店舗数の推移 ---------------- 19

3. 今後の取り組み

飲食事業の方針 ---------------- 21
飲食事業の管理体制を変更 ---------------- 22
2016 年 2 月期の新規出店・店舗取得 ---------------- 23
中期的な不動産事業の成長を目指す ---------------- 24
空室リスクがゼロのリーシングレス開発 ------- 25
不動産事業の競争優位 ---------------- 26
物件一覧 ---------------- 27
今期の業績見通し ---------------- 28

1．連結決算概要

決算ハイライト

売上高	連結売上高は過去最高 13,665 百万円を達成
営業利益	営業利益は 67 百万円となり黒字に転換
出店	新規出店が 17 店舗、M&A 等により 7 店舗増加
既存店	コスト管理が浸透し堅調に推移

連結損益計算書概要

（百万円）

	2014年2月期 通期実績	構成比(%)	2015年2月期 通期実績	構成比(%)	前年同期比(%)
売上高	11,419	100.0	**13,665** ①	**100.0**	119.7
売上原価	3,495	30.6	**4,238**	**31.0** ②	121.3
売上総利益	7,924	69.4	**9,427**	**69.0**	119.0
販売管理費	7,987	69.9	**9,359**	**68.5**	117.2
営業利益または営業損失	△63	—	**67** ③	**0.5**	—
営業外収益	126	1.1	**123**	**0.9**	97.9
営業外費用	94	0.8	**91**	**0.7**	96.6
経常利益または経常損失	△31	—	**99**	**0.7**	—
特別利益	—	—	**40**	**0.3**	—
特別損失	68	0.6	**42**	**0.3**	62.2
税金等調整前当期純利益または純損失	△100	—	**97**	**0.7**	—
当期純利益または純損失	△139	—	**28**	**0.2**	—

①新規出店、および M&A 等による店舗数の増加、ならびに好調な既存店の業績により、前年同期比 119.7% の過去最高売上高を達成。

②飲食事業単独での原価率は 27.3% となり前年同期比 0.3 ポイントの増加。原材料費の高騰等により原価が増加する中、原価低減への取り組みにより上昇を抑制。

③売上高の増加及びコスト管理により、前期の営業損失から黒字転換を達成。

連結貸借対照表概要

（百万円）

	2014年2月期 期末	2015年2月期 期末
【資産の部】		
流動資産	1,321	**1,550**
現金及び預金	708	**749**
売掛金	267	**381**
たな卸資産	80	**95**
その他	265	**323**
固定資産	6,375	**7,103**
有形固定資産	4,955	**5,453**
建物及び構築物	3,004	**3,284**
土地	1,428	**1,632**
その他	522	**535**
無形固定資産	31	**50**
投資その他の資産	1,388	**1,599**
繰延資産	8	**5**
資産合計	7,706	**8,659**

	2014年2月期 期末	2015年2月期 期末
【負債の部】		
流動負債	2,134	**2,882**
買掛金	264	**581**
1年内返済予定の長期借入金	818	**963**
その他	1,050	**1,338**
固定負債	3,541	**3,750**
長期借入金	3,012	**3,187**
その他	528	**563**
負債合計	5,675	**6,633**
【純資産の部】		
株主資本	2,056	**2,069**
資本金	1,068	**1,068**
資本剰余金	998	**998**
利益剰余金	64	**77**
自己株式	△76	**△76**
その他の包括利益累計額	△26	**△46**
新株予約権	—	**3**
純資産合計	2,030	**2,026**
負債純資産合計	7,706	**8,659**

連結キャッシュ・フロー計算書概要

（百万円）

	2014年2月期 通期実績	2015年2月期 通期実績	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	706	**1,247**	税金等調整前当期純利益97百万円 減価償却費834百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,113	**△1,209**	新規出店や独立支援ビル等の設備投資による有形固定資産の取得1,274百万円 差入保証金の差入131百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	689	**63**	長期借入れ1,185百万円 長期借入金の返済998百万円
現金及び現金同等物の増減額	282	**101**	
現金及び現金同等物の期首残高	365	**648**	
現金及び現金同等物の期末残高	648	**749**	

セグメント別業績概況

（百万円）

		2014年2月期 通期実績	2015年2月期 通期実績	前年同期比 （%）	ポイント
飲食事業 居酒屋、レストラン等での飲食サービスの提供	売上高	10,089	**12,206**	121.0	新規出店、および M&A 等による店舗数の増加により、売上高は大幅に増加。コスト管理の取り組みにより、営業利益も大幅に増加。
	営業利益	315	**524**	166.1	
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	961	**973**	101.2	施設のリニューアル等により挙式件数は過去最高を更新し、売上高・利益ともに堅調に推移。
	営業利益	61	**69**	112.6	
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	1,577	**1,732**	109.8	既存物件のテナント収入は引き続き堅調に推移し、11 月に開業した独立支援ビルの収入が上積みされ売上高・利益ともに増加。
	営業利益	124	**160**	128.7	
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	805	**877**	109.0	物流センターの本格稼働により仕入・下処理業務の効率化を推進。
	営業利益	61	**58**	96.1	
調整額	売上高	△2,013	**△2,124**	—	
	営業利益	△626	**△745**	—	
連結財務諸表計上額	売上高	11,419	**13,665**	119.7	
	営業利益	△63	**67**	—	

飲食事業の業態分析

（百万円）

業態区分		2014 年 2 月期 通期実績	2015 年 2 月期 通期実績
居酒屋業態	売上高	7,884	**9,085**
	営業利益 （本部経費配賦前）	827	**1,054**
レストラン業態	売上高	1,646	**1,607**
	営業利益 （本部経費配賦前）	142	**176**
カフェ業態	売上高	—	**961**
	営業利益 （本部経費配賦前）	—	**15**

※出店する業態構成の変遷に伴い業態分類を変更したため、カフェ業態の前期の数値は記載されておりません。

※前期までの分類による「レストラン業態」「SC 業態」を統合して、新たに「レストラン業態」に分類しております。

2．2015年2月期トピックス

売上高の拡大①：新規出店・M&A 等による店舗増加

新規出店により 17 店舗、M&A 等により 7 店舗、合計 24 店舗増

Project J

- 3 月 1 日 ● 舌一
- 5 月 1 日 ● 静岡パルシェビアガーデン
- 5 月 12 日 ● 爽鶏屋 名駅三丁目
- 5 月 27 日 ● 二六丸 名駅店
- 7 月 1 日 ● 鹿児島うまかもん市場
- 9 月 29 日 ● Seafood & Wine MARCADO
- 12 月 5 日 ● 芋蔵 イオンモール岡山店
- 3 月 1 日 ● 伊助
- 3 月 6 日 ● tantan
- 3 月 10 日 ● 爽鶏屋 金山店

eight

- 3 月 14 日 ● 88 huithuit ららぽーと TOKYO-BAY
- 4 月 17 日 ● 88 huithuit 名駅店
- 12 月 5 日 ● 88 huithuit イオンモール岡山店
- 12 月 12 日 ● 88 huithuit イオンレイクタウン

- 4 月 2 日 ● 猿 Cafe 愛知学院大学 名城公園キャンパス店
- 5 月 16 日 ● 猿 Cafe 町田マルイ店
- 店舗取得 ● Cafe Concent

Dear J

- 4 月 18 日 ● The Oyster Bar Kobe
- 4 月 30 日 ● The Oyster Bar Shizuoka
- 12 月 12 日 ● The Oyster House Koshigaya
- 9 月 1 日 ● The Oyster Bar Nagoya

Thanks Mind

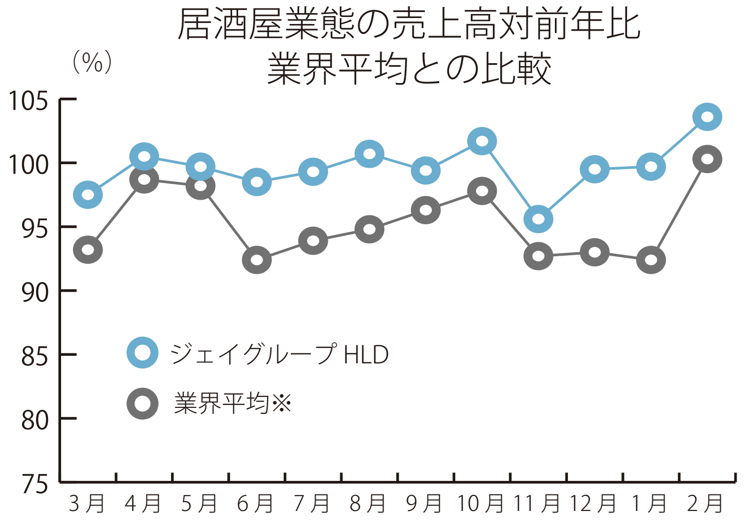
- M & A ● あしびな～ 桜丘店
- M & A ● 沖縄料理 ５８
- M & A ● 高田屋 品川店
- M & A ● TODOS 品川店
- M & A ● ● TODOS コレット・マーレみなとみらい店
- M & A ● ● TODOS 渋谷道玄坂店

J TRADE

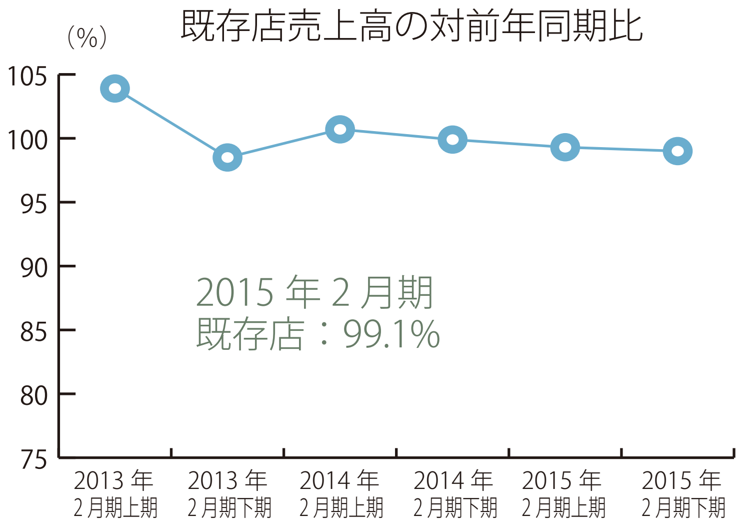
- 9 月 26 日 ● 九州うまかもん屋

● 新規出店 17 店舗
● リニューアル 6 店舗
● M&A 等による増加 7 店舗

売上高の拡大②：堅調な既存店



※出典：日本フードサービス協会



		2014年										2015年		2015年2月期実績
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
居酒屋業態	売上高前年同月比	97.5%	100.5%	99.7%	98.5%	99.3%	100.7%	99.4%	101.7%	95.6%	99.5%	99.7%	103.6%	99.6%
	来店客数前年同月比	97.3%	101.2%	100.9%	98.6%	98.9%	100.0%	98.8%	101.3%	95.7%	99.5%	99.9%	103.6%	99.5%
	客単価前年同月比	100.2%	99.3%	98.8%	99.9%	100.3%	100.7%	100.6%	100.4%	99.9%	100.0%	99.9%	100.1%	100.0%
レストラン業態	売上高前年同月比	103.6%	95.6%	100.1%	97.0%	101.3%	96.1%	92.2%	93.5%	102.5%	93.6%	91.4%	103.1%	97.4%
	来店客数前年同月比	99.7%	94.7%	95.1%	94.4%	95.5%	92.7%	90.1%	90.3%	99.2%	91.3%	90.6%	96.1%	94.1%
	客単価前年同月比	103.9%	101.0%	105.3%	102.7%	106.1%	103.7%	102.3%	103.6%	103.4%	102.6%	100.9%	107.3%	103.5%

※既存店基準：開店日より 24 ヶ月を経過した店舗を対象としております。

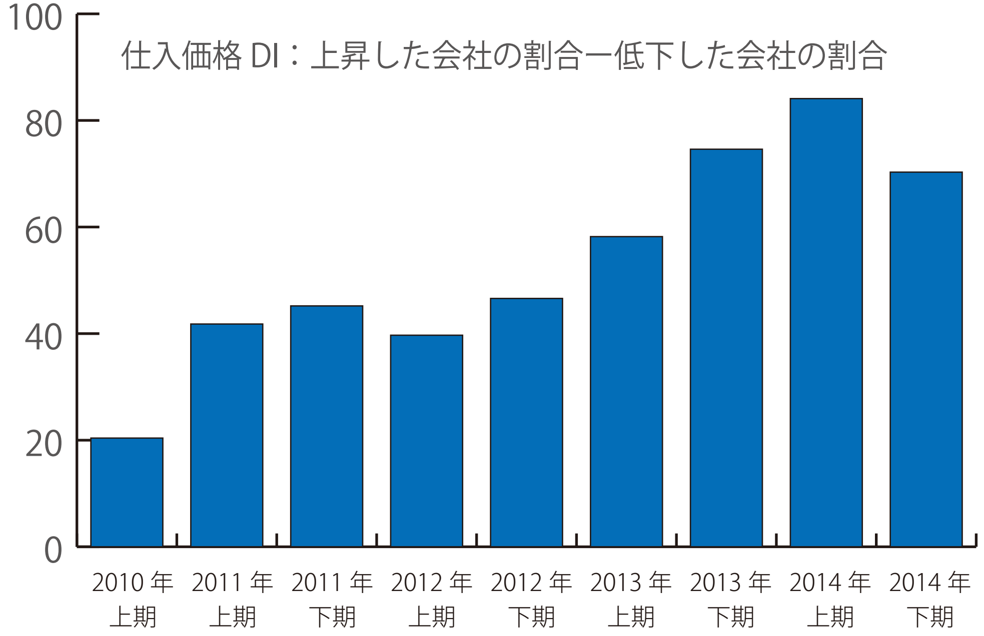
※カフェ業態は当期より新たに区分しているため表記しておりません。

※前期までの分類による「レストラン業態」「SC 業態」を統合して、
新たに「レストラン業態」に分類しております。

原価管理①：原材料費の市場環境

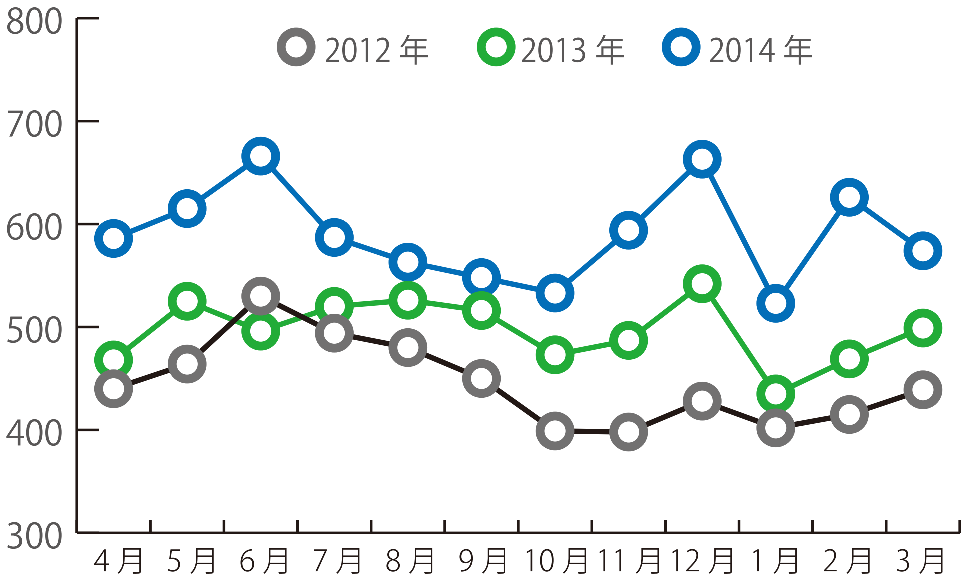
原材料費の高騰は継続したトレンドになりつつある

飲食業の仕入価格 DI の推移



出典：日本政策金融公庫 平成 26 年下半期食品産業動向調査

豚肉卸売価格の推移



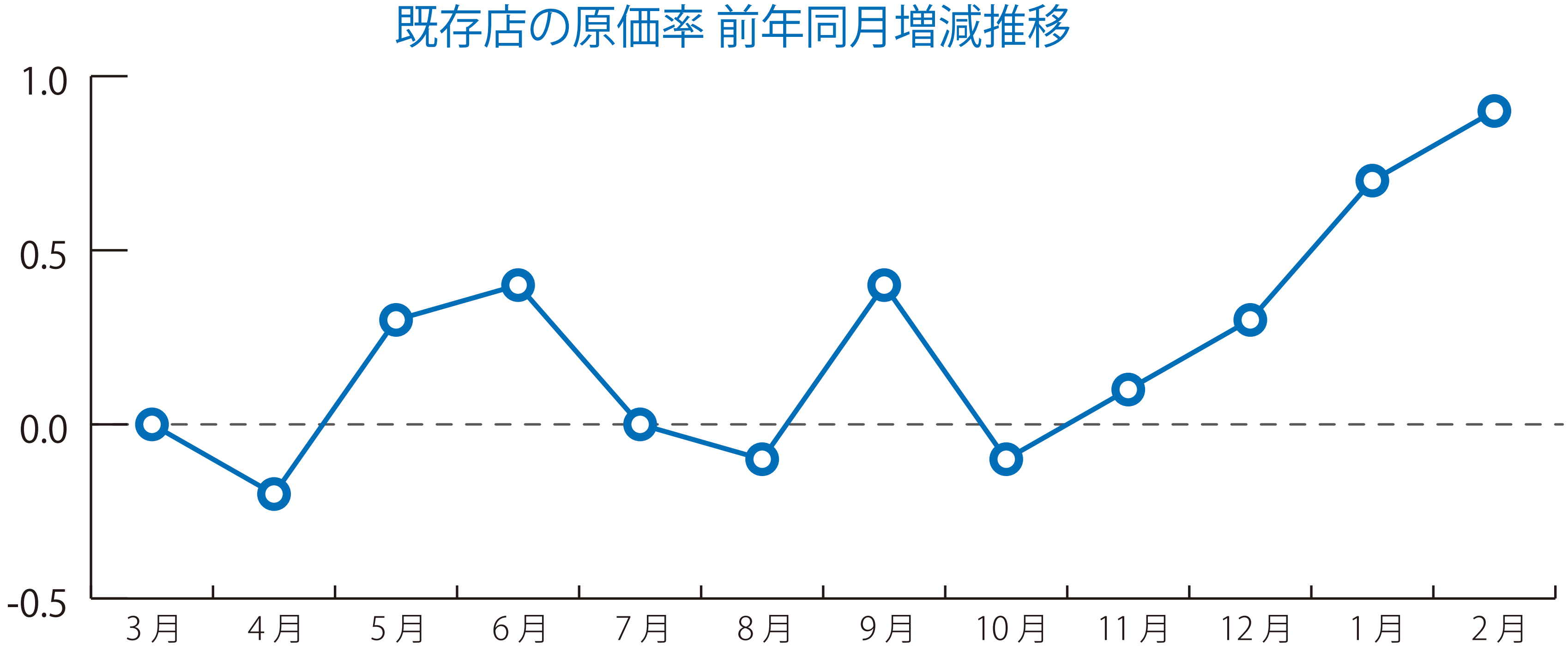
出典：JACC ネット 豚枝肉卸売価格の推移（東京市場）

仕入価格 DI は右肩上がりを示しており
仕入価格が上昇した会社の割合が増加している

実例として豚肉の卸売価格は、年を追うごとに
上昇している（2014 年平均価格は 18.8% 上昇）

原価管理②：原材料費高騰の影響を低減

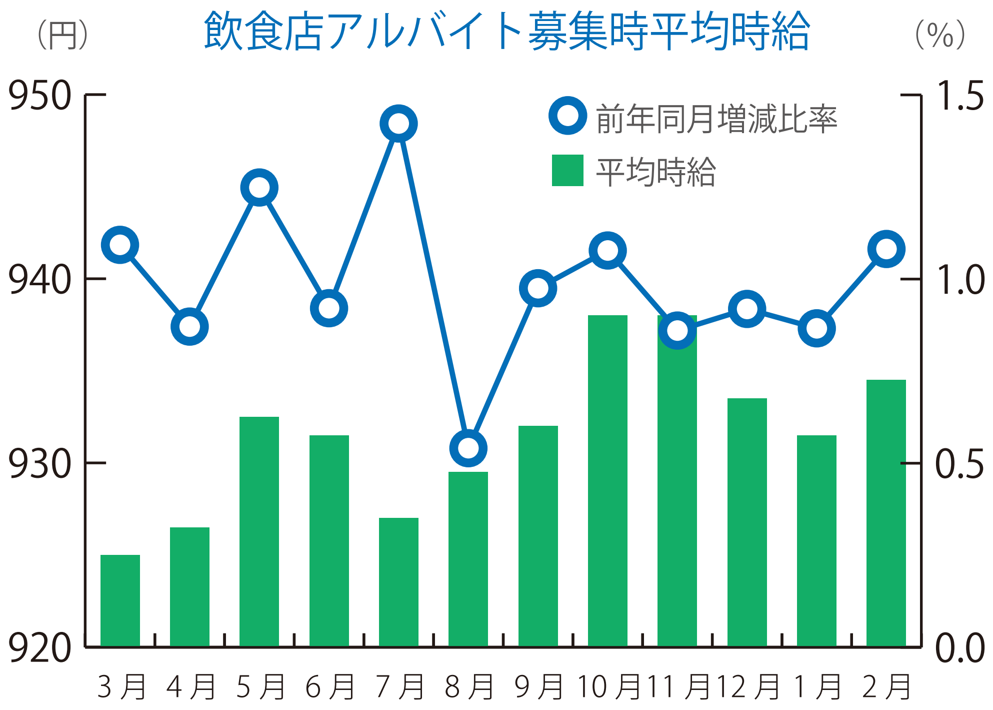
原価改革の取り組みにより原価率の上昇を抑制



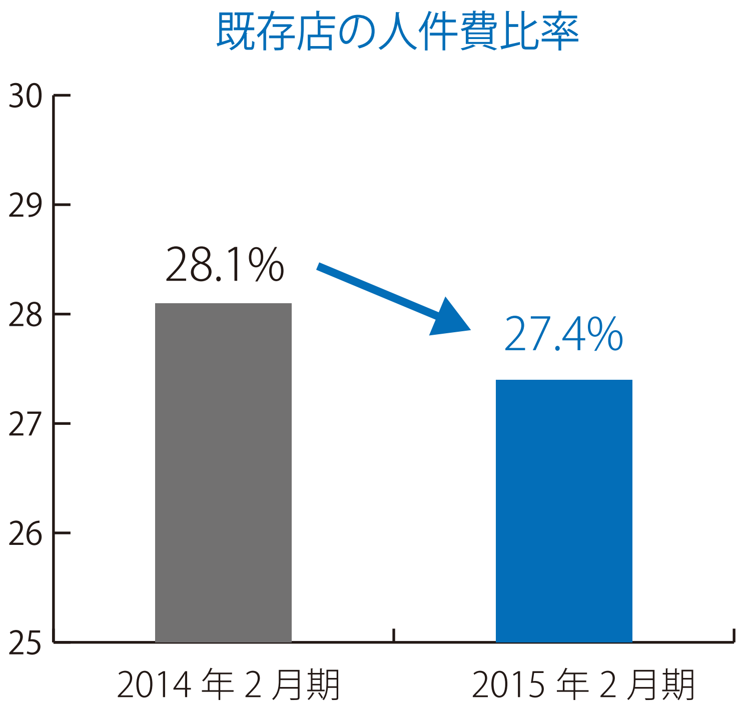
原材料費が継続して上昇していく中で既存店の通期原価率は
27.0%→27.2% となり 0.2 ポイントの上昇に抑制。

人件費管理：効率化の取り組みにより低減

人件費上昇が続く中、シフト管理などの取り組みが浸透



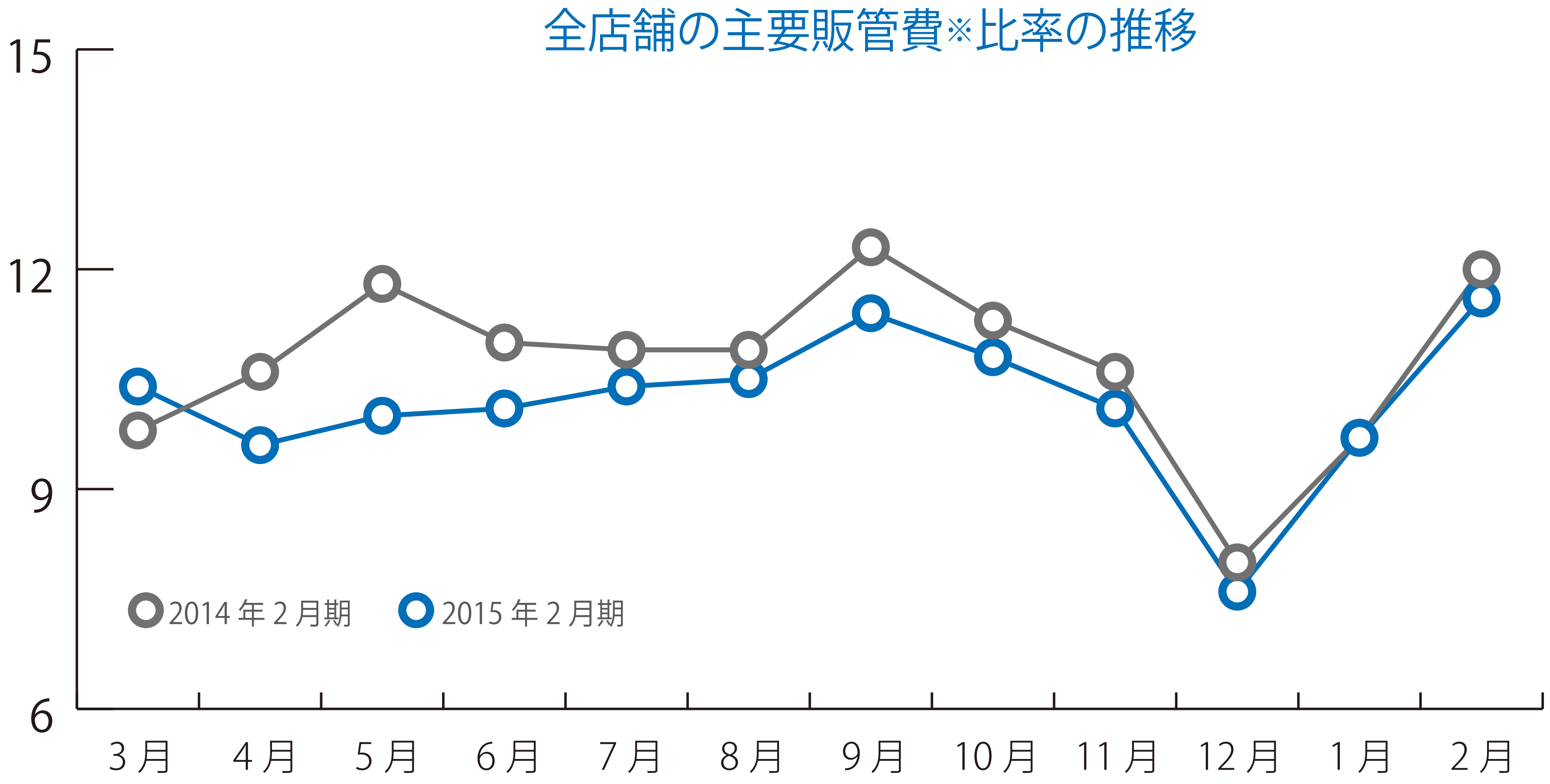
※ 株式会社リクルートジョブズ アルバイト・パート募集時平均時給調査
（飲食店ホールスタッフ、調理師の募集時平均時給）



通期での人件費比率は 28.1%→27.4% となり 0.7 ポイント低減

販管費管理：合同出稿等の取り組みにより削減

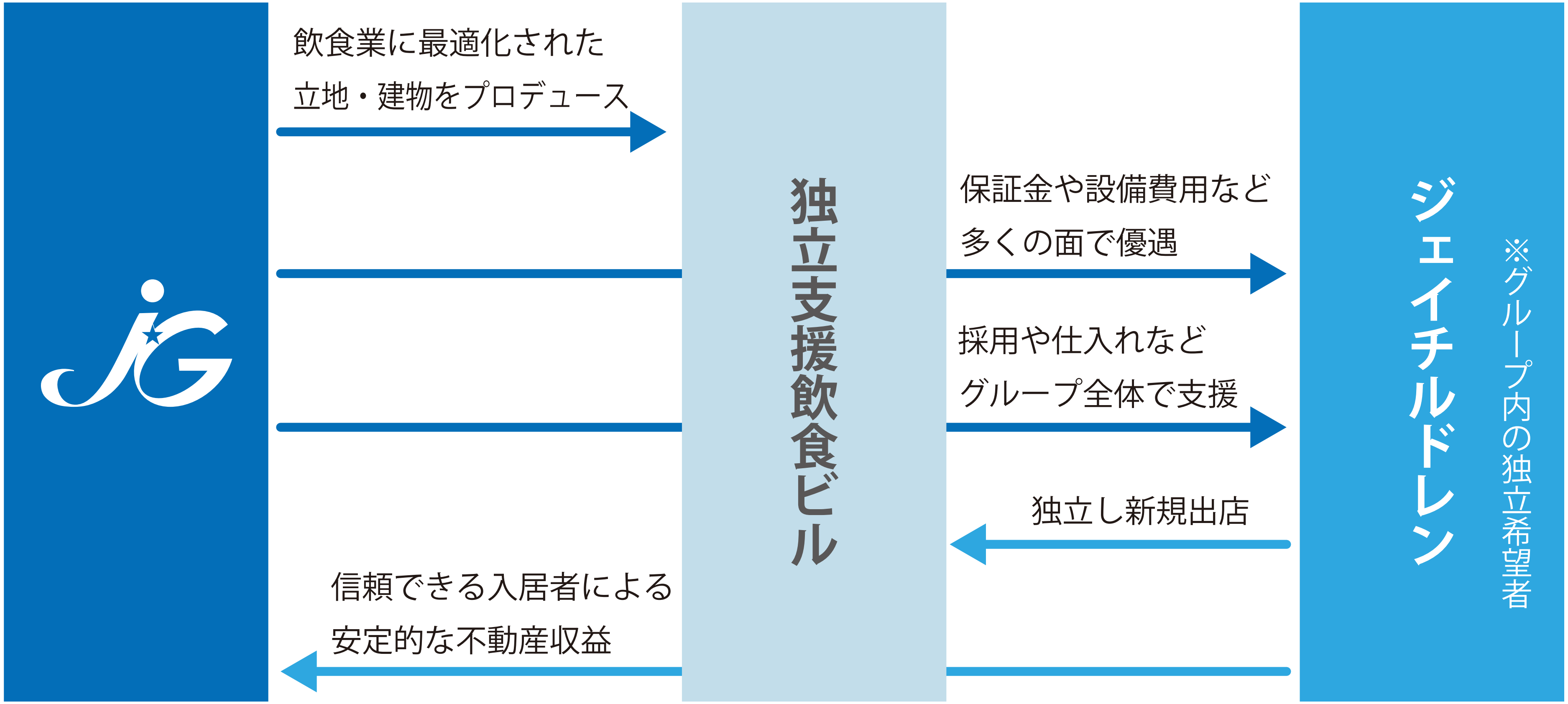
販促費・求人費の予算管理や合同出稿で効率化を実現



※広告宣伝費、販売促進費、求人費、水道光熱費、消耗品の合計

通期での主要販管費比率は 10.6%→10.1% となり 0.5 ポイント低減

独立支援飲食ビルのプロデュース



ジェイグループのメリット

- 独立支援を強化することで従業員のモチベーションを向上
- 独立支援制度の活性化により採用にも好影響
- 信頼できる入居者による安定的な不動産収入を確保

独立支援飲食ビル「ジェイチル名駅」開業

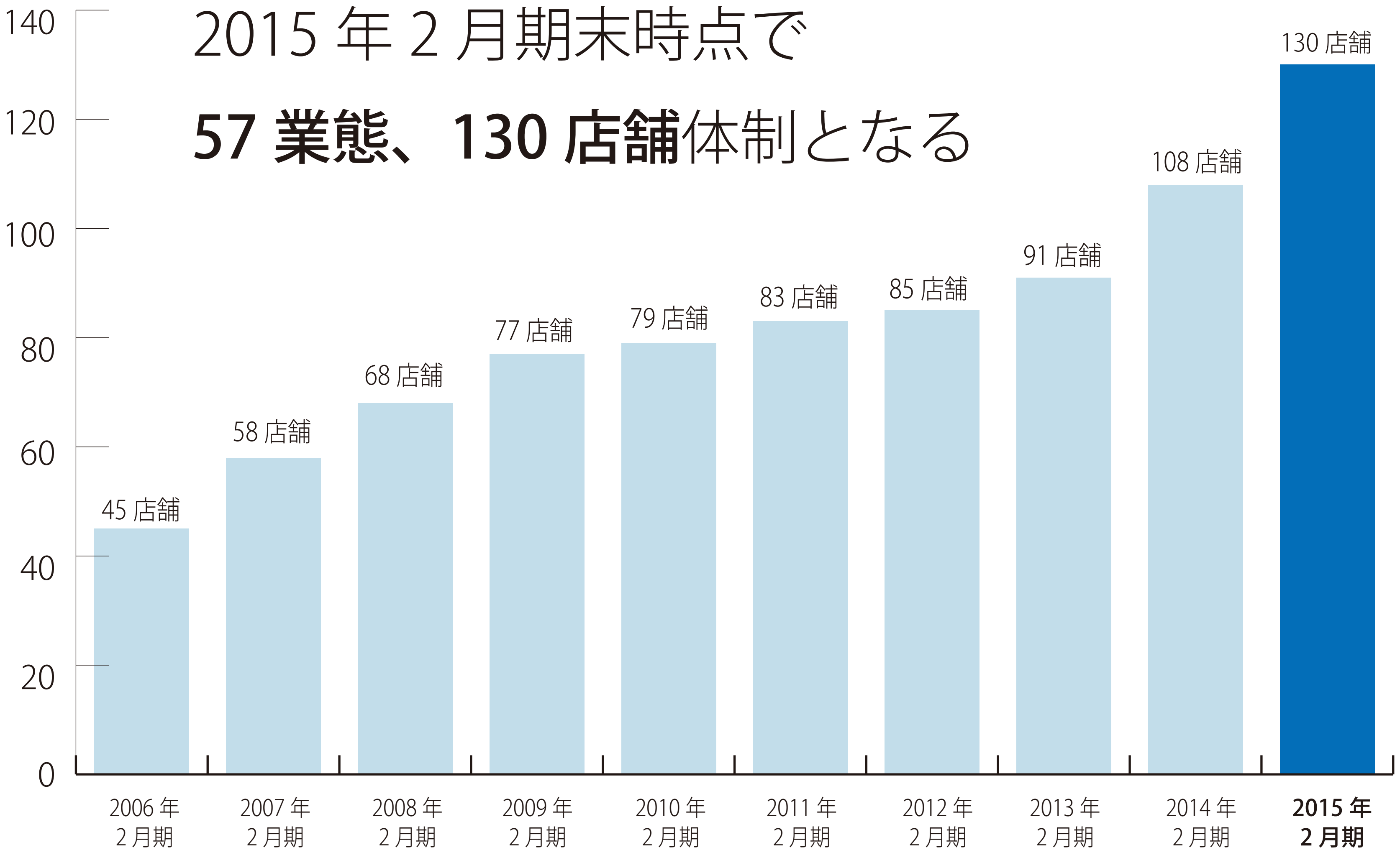
施設概要

施設名：	ジェイチル名駅
住 所：	名古屋市中村区名駅 3-5-14
敷地面積：	48.52 坪
延べ面積：	155.24 坪
構造：	鉄骨 ALC 造 地下 1 階地上 4 階建
オープン日：	2014 年 11 月 26 日

入居店舗

4 F	浜やき小屋 カキ大将
3 F	牛たん たん兵衛
2 F	鉄板居酒屋 かちどきや
1 F	Craft beer & dining TAP ROOM
B1F	泡 × ワイン Bar Bino

店舗数の推移



2015 年 2 月期末時点で
57 業態、130 店舗体制となる
140
120
100
80
60
40
20
0
45 店舗
58 店舗
68 店舗
77 店舗
79 店舗
83 店舗
85 店舗
91 店舗
108 店舗
130 店舗
2006 年 2 月期
2007 年 2 月期
2008 年 2 月期
2009 年 2 月期
2010 年 2 月期
2011 年 2 月期
2012 年 2 月期
2013 年 2 月期
2014 年 2 月期
2015 年 2 月期

3．今後の取り組み

飲食事業の方針

コスト管理の継続

・原価管理を芋蔵以外の業態へ拡大
・人件費管理においては引き続き現状のレベルを維持
・販管費管理ではモデル店舗で販促費の最適化を試行

管理体制の変更

・子会社の飲食店舗はジェイプロジェクトで一括管理
・今後の組織再編も見越して効率化を進める

新規出店及び既存店

・通期で 20 店舗程度の出店を予定
・店舗数の増加に対応し、組織体制を見直し既存店の活性化に注力

飲食事業の管理体制を変更

2015年2月期までの体制

Project J	芋蔵を代表とする居酒屋業態を中心とした店舗の運営管理
J8 eight	パンケーキカフェ huithuit の運営管理
(猿カフェ)	猿カフェ業態の運営管理
Dear J	Oyster Bar 業態の運営管理
Thanks Mind	TODOS 等、子会社化前の保有店舗 6 店舗の運営管理

2016年2月期からの実質的体制

JG − Project J − 全ての飲食店店舗

管理プロセスの一本化により本部管理の徹底、共通施策の実施スピードを加速

カフェ業態、新業態などの子会社による独自管理を
グループ会社とジェイプロジェクトによる一括管理へ変更

2016年2月期の新規出店・店舗取得

新規出店6店舗

3月3日 猿Cafe 星ヶ丘店

3月26日 芋蔵霞が関店

3月6日 SARU CAFE ラシック店
（新業態）

コーヒー豆や抽出方法にこだわったサードウェーブ
コーヒーの本質を実現した店舗です。

4月24日 ためつ食堂
（新業態）

日本全国から厳選したお米を、日本酒の仕込み水にも
使用する越後の名水でおいしく炊きあげました。

4月24日 マノアバレーカフェ
（新業態）

ハワイで大人気のカフェ「MORNING GLASS」の
創業者が全面サポート。拘りぬいた豆を使用した
至福の一杯を提供します。

5月11日（予定）お勝手たんと
（新業態）

女性だけで切り盛りする、
家庭料理を提供するお勝手居酒屋。

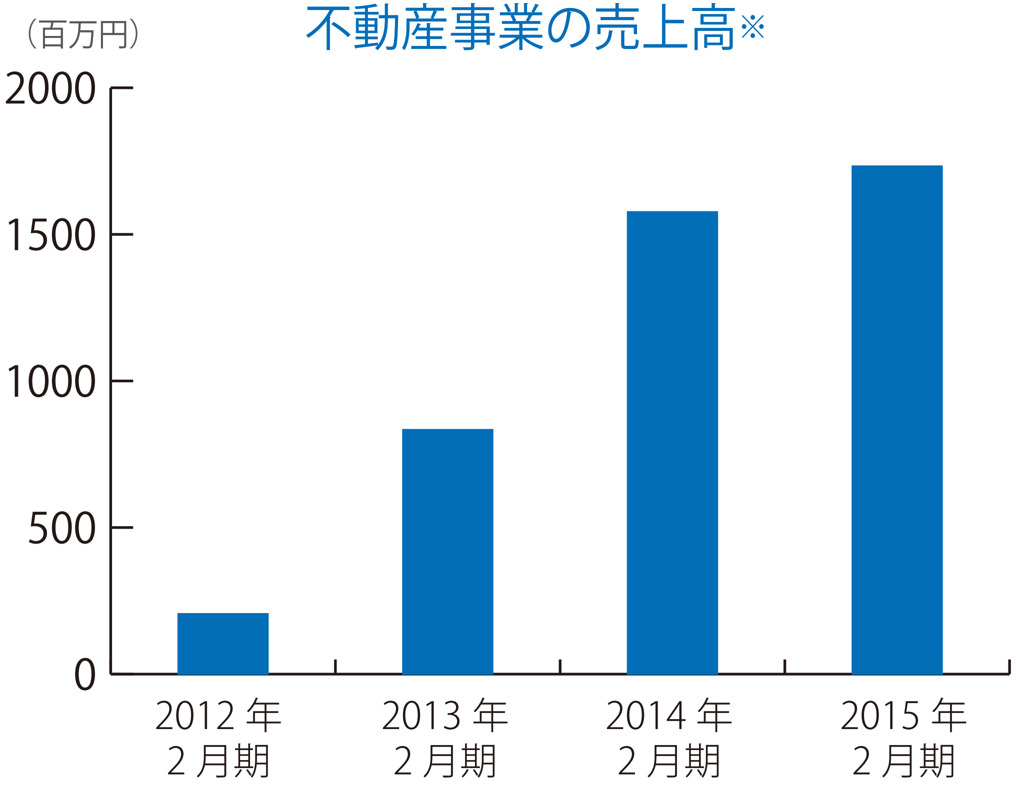
店舗取得2店舗

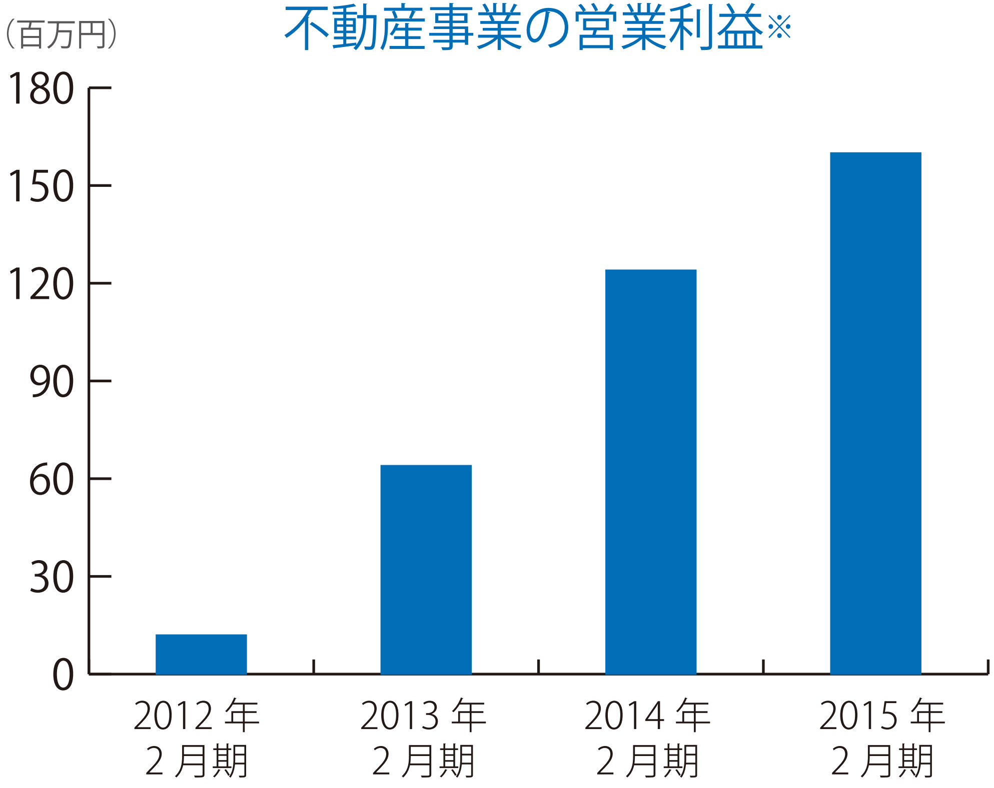
3月1日 猿Cafe TV塔店

3月1日 猿Cafe 葵店

中期的な不動産事業の成長を目指す

不動産事業は安定的な収益を獲得し順調に成長

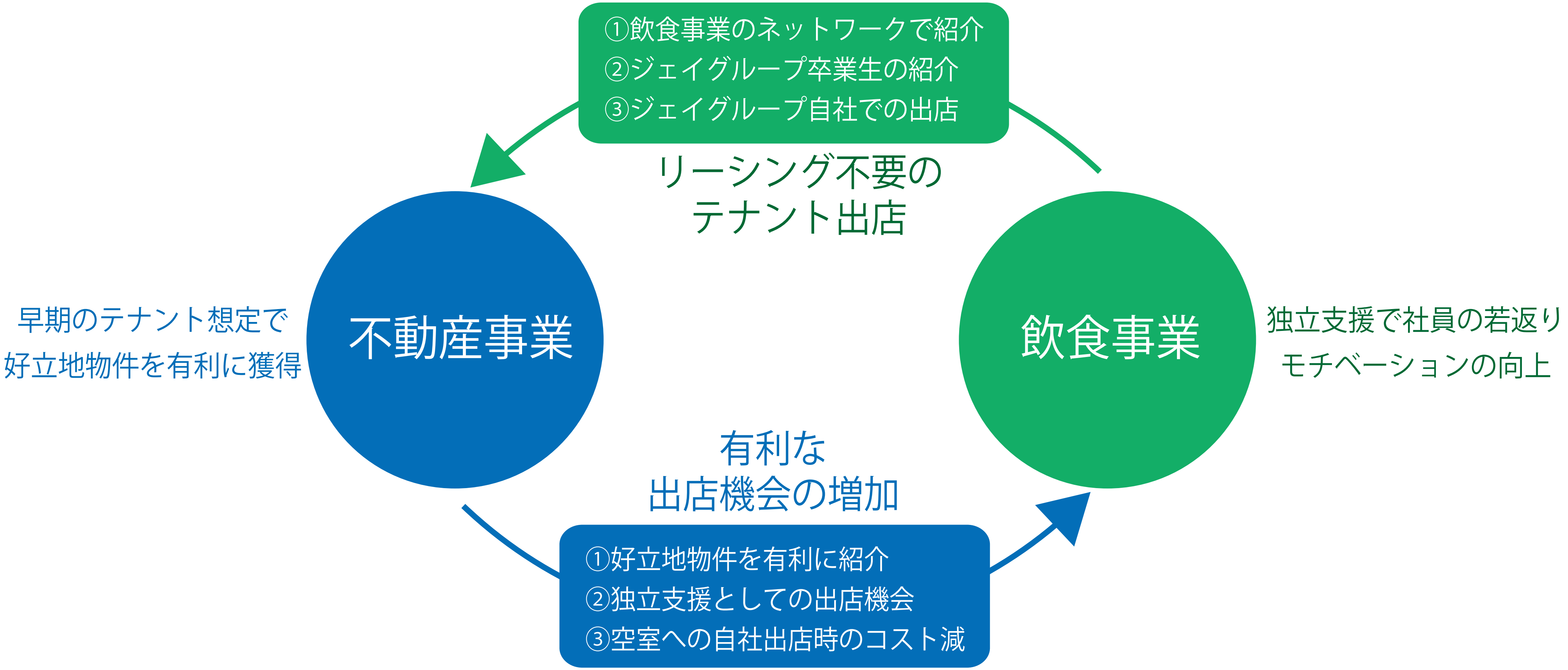




今後も景況感に左右されづらい収益源として
不動産事業に注力

※連結調整前

空室リスクがゼロのリーシングレス開発



飲食事業のテナント紹介でリーシング活動がほぼ必要なくテナントが決定
独立支援の推進により社員の若返りが促進し人件費の抑制に貢献

不動産事業の競争優位

飲食ビル開発の各プロセスで優位性を保持

	調査・企画 基本計画	物件開発 一括借上	リーシング	運営管理
	マーケット分析 収支計画 競合調査	建築設計 デザイン 内装設計	条件設定 テナント募集	販促支援 テナント入替
不動産会社に対する競争優位	・飲食を中心とした分析能力、企画力 ・事前のテナント想定で収支計画が容易	・飲食特化の使いやすい設計 ・飲食店舗の内装経験が豊富	・リーシングの必要なくテナントが決定	・空きリスクゼロ ・グループ内での販促支援
飲食会社に対する競争優位	・専門部署による知見と経験 ・実績により物件紹介資金調達が容易	・デザイナーや建築家との協業 ・自社物件の開発経験	・自社出店以外の選択肢が多数	・空きリスクゼロ ・グループ内での販促支援

物件一覧

自社取得 商業ビル

ジェイチル名駅

G-SEVENS 刈谷

ダイヤモンドウェイ

一括借上 商業ビル

G-SEVENS 豊田
（一棟借上）

名古屋ルーセントタワー
（B1F/1F/2F/40F/ 別棟等の
店舗を一括借り上げ）

自社取得

レジデンス等

ジュール広川

ジュール白川

西麻布

今期の業績見通し

（百万円）

	2015年2月期 通期実績	2016年2月期 業績予想	前年同期比 （%）
売上高	13,665	**14,100**	103.2
営業利益	67	**150**	221.9
経常利益	99	**139**	139.5
当期純利益	28	**49**	169.7
配当金	中間 1.0円 期末 1.5円	中間 1.5円 期末 1.5円	

お問い合わせ先

【ＩＲに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部　IR担当
TEL：052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。
複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。
また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。